



櫻井 信夫 議員(14 ページ)

1. 地方創生の取り組みについて

足立 詔子 議員(14 ページ)

1. 地域包括ケアによる地域医療の取り組みは

八島 進 議員(15 ページ)

1. 新年度の予算編成と今後の財政について

柏原 功 議員(15 ページ)

1. 家具転倒防止金具の推進を
2. 安否札の推進を

花木 敏行 議員(16 ページ)

1. 農業振興地域の活性化は

石田 良雄 議員(16 ページ)

1. あま市の都市計画道路について

加藤 哲生 議員(11 ページ)

1. 市の公園施設の改善について
2. 火葬費の助成について

松下 昭憲 議員(11 ページ)

1. 新あま市民病院開院について

野中 幸夫 議員(12 ページ)

1. 各施設の給湯器について

橋口 紀義 議員(12 ページ)

1. 道路や橋などのインフラ総点検について
2. 市民病院に口腔ケア専門室の設置を

後藤 幸正 議員(13 ページ)

1. 市道および交差点の維持・安全管理について

寺本 隆男 議員(13 ページ)

1. 児童遊園、ちびっ子広場について





松下 昭憲 議員

問 新病院の医療体系の将来像をどのように考えているか。明確なビジョンを示していただきたい。市民病院事務局長 急性期及び回復期の医療提供

体制により一般医療から回復期医療まで総合的な医療を担い、地域住民の要請に応えつつ、自治体病院としての使命を果たしていききたい。また、新たに患者支援センターの設置を行い、地域住民が安心して生活できる地域医療確保に取り組んでいく。

問 医師および看護師の確保はできているか。ま

た、現在の状況は。市民病院事務局長 現在、常勤医師は14名、看護師は90名。このほか、新病院開院時までに常勤医師を3名、非常勤医師1名を内定しており、引き続き、医師確保に全力で取り組んでいく。

問 今秋に開院となるが、180床をどのように利用される予定なのか。市の考えは。

市民病院事務局長 急性期から回復期までの領域

新あま市民病院開院について



森が丘公園

市の公園施設の改善について



加藤 哲生 議員

問 ①あま市の公園の件数は。②公園のトイレ増設についての考えは。③公園内の避難対策はどうしているか。④公園の一部にドッグランなどを設置する必要があると考え

るが、市の考えは。建設産業部長 ①都市公園や児童遊園など、合計で129カ所設置している。②新たなトイレの設置予定はない。③指定避難所としての位置づけはないが、一時的な集会所、待機場所として公園を利用してもらうことになると考える。④公園は限られたスペースをさまざまな市民が利用しているため、ドッグランなどの施設を設置する予定は

ない。

火葬費の助成について

問 ①昨年中のあま市の死亡者数は。②名古屋市の八事斎場や稲沢市の祖父江斎場の使用料は市内と市外で格差がある。市外の場合、八事斎場は6万5千円、祖父江斎場は4万5千円高くなるが、軽減対策は。③生活困窮者などに対する市独自の補助制度が必要不可欠で

あると考えるが、市の考えは。市民生活部長 ①715人であった。②五条広域事務組合において進めている斎場建設の進捗状況を見て、助成などを含めた制度の調査研究をしていきたい。

市長 ③近隣に補助をしている自治体はないが、全国の自治体の情報を収集し、調査研究をしていきたい。



新あま市民病院建設現場



甚目寺総合福祉会館

各施設の給湯器について



野中 幸夫 議員

問 甚目寺総合福祉会館や七宝総合福祉センターなどは給湯器が撤去されている。美和のすみれの里は撤去予定、甚目寺老人福祉センターは設置されていない。これらは、

高齢者施設であるので、給湯器を設置して住民に同一のサービスを提供する必要がありと考えるが、**市民生活部長** 甚目寺総合福祉会館の給湯器は撤去しているが、入浴されている方々の健康を考えると、水分補給が必要であり、26年度末までにウォータークーラーを設置する予定。七宝総合福祉センターは、入浴施設にウォータークーラーを2台設置している。

企画財政部長 甚目寺老人福祉センターについては、今後、設置を検討する。**問** 福祉会館、憩の家の利用証交付は、申し出をする必要があるが、60歳以上の方が利用できるように郵送するべきではないか。また、七宝総合福祉センターの条例第1条において「市民の老人及び心身障害者の福祉を増進するため」とあるが、「市民の老人」というの

は、理解ができず、意味不明である。条例を改正すべきではないか。**福祉部長** 利用証の交付は、60歳以上の方が利用できる市ホームページで紹介しているが、今後、利用される方にPRができるように検討する。七宝総合福祉センターの条例については、表現が悪く、分かりにくいので、改正したい。

道路や橋などのインフラ総点検について



橋口 紀義 議員

問 2月3日に篠田地区で、市道と交差する農業用水の道路面が25センチほどにわたり陥没した。人的被害が無くて幸いしたが、老朽化した配管が原

因との事であった。これまで市が行ってきた総点検は、万全であったのか。**建設産業部長** 24年度から国、県の要領に基づいて点検を行ってきた。**問** 用水路を管理する組合との連携はとれているのか。**建設産業部長** 必要に応じて管理協定を締結するなど連携を密にしているが、昭和50年代施工の箇

所については、一部明確な部分があり、今回の事故を受けて、県から調査依頼があった。**問** 危機管理の観点からも道路の空洞化対策を行い、新たに劣化損傷箇所を早期に発見し、直ちに補修する道筋を作るべきと考えるが。**建設産業部長** 職員のパトロールを強化し、劣化箇所の早期発見と修繕に努めていく。**問** 路面にマイクロ波を

照射し、路面下をスキャンして空洞化や橋の劣化箇所を発見する専門企業もある。検討しては。**土木課長** 今後、調査、検討していく。**市民病院に口腔ケア専門室の設置を****問** 地域包括ケアシステムの議論がなされている。健康維持のため、ケア専門室を設置しては。**市民病院事務局長** 嚥下専門の認定看護師がいて

口腔ケアをしている。



篠田橋の陥没



寺本 隆男 議員

問 都市公園、児童遊園、ちびっ子広場について。旧七宝町の場合、旧他町と比べて、総トータルの数とか、使っている遊具などの内容が見劣りする

答 福祉部長 児童遊園、ちびっ子広場は、3地区で81カ所、遊具は1カ所あたり平均4基程度。現状では、特に利用者の安全確保のための遊具などの点検、調査をしながら修繕している。

問 都市公園と同じく、遊具の改築、更新を調査する気があるのか。

答 福祉部長 特に劣化・損傷を把握しながら、危険な遊具、フェンスがあれば、修繕を実施している。

問 ライフサイクルコストが余りかからないように思えるが、ちびっ子広場などに予算を使ってもよいのではないか。

答 子育て支援課長 安全確保のための遊具の保守点検料、地元への管理委託料、借地料などがかかっており、27年度では、当初予算として3850万

児童遊園、ちびっ子広場について

問 都市公園、児童遊園、ちびっ子広場について。

答 福祉部長 特に劣化・損傷を把握しながら、危険な遊具、フェンスがあれば、修繕を実施している。

問 行政改革の観点からの考え方は。

答 市長 人口の増減によって、増になっているところには、公園をつくらなければいけない。行財政改革の中で位置づけをし、統廃合も含めて考えていくことが大変重要になる



下之森ちびっ子広場



伊福交差点

市道および交差点の維持・安全管理について



後藤 幸正 議員

問 市道の維持管理および交差点の安全対策は。市民からの要望は実行しているか。

建設産業部長 平成27年度予算では維持管理の予算中、側溝工事に970

0万、舗装修繕に4000万、排水路整備に1億円。限られた予算の中で整備を進めていきたい。交差点の安全対策は、渋滞解消や事故防止のため、現在、伊福交差点、坂牧東交差点、方領東交差点の改良工事を進めている。今後も津島警察や交通安全協会などと連携し、交通事故防止に努力していく。また、日頃から職員の通勤途中に気づいた事や道路パトロール

などで損傷箇所の早期発見に努め、整備を行っていく。

問 市民ができる程度の道路補修を行った場合に、マイレージポイントを出したり、税金を減免したりするなど、道路の維持管理などを市民と協働ですることができないか。

土木課長 愛知県では、国道や県道の歩道など安全に活動できる区間での清掃活動をしていただく愛・道路パートナーシッ

プ事業があり、あま市では6団体の方に行っていた。今後、ボランティア活動で安全に行える維持管理を検討していきたい。



県道名古屋津島線バイパス

地方創生の取り組みについて



櫻井 信夫 議員

問 地域発展に重要な県道名古屋―津島バイパスが平成24年5月に七宝庁舎前まで整備され、旧県道の交通渋滞の解消、商業施設の開業など地域の発展、災害時の輸送道路

の確保、および外観の改善などの効果・利点は多く、住民からさらに津島方面に向けてバイパスの延伸整備の期待は大きい。津島までのあま市内の延伸整備の早期実現は。

問 あま市の10年後の人口目標について、現計画より高い目標を期待しているが。

市長 国が今、地方創生を進めようとしており、これは地方の人口を増やすことである。あま市総合計画では9万人の目標をつくっているが、あま市版創生計画作成のもと、さらに人口増の計画をつくっていく。

地域包括ケアによる地域医療の取組みは



足立 詔子 議員

問 ①地域医療の連携の取り組み、およびあま市民病院での女性医師による女性専門外来の相談窓口設置について。②地域包括ケア病棟の導入につ

いて。③あま市民病院の巡回バスの増便について。**市民病院事務局長** ①名古屋第一赤十字病院を初めとする病院や地域の各診療所との連携を持ち、今後、在宅復帰していたため、在宅復帰を強化していく。女性専門外来の相談窓口はないが、新病院では患者支援センターを設置し、さらに相談業務などの充実を図つ

ていく。**②**地域包括ケア病棟の導入は、今後の患者の動向などを見ながら検討したい。**③**他コースとの発着時刻の関係上、増便の調整は難しいが、新病院ではコース、発着時刻などの見直しを検討している。

問 あま市の健康寿命を延ばす取り組みは。**市民生活部長** ①65歳以上の高齢者の生活機能の低下予防や維持向上に、地域の公共施設を利用して健康づくりに取り組んでいる。**問** 2025年を見据えた地域包括ケアへの地域医療の取り組みは。**福祉部長** 在宅医療と介護が一体的に提供されることが鍵となっており、地域の医療・介護サービス資源の把握をし、医療関係者および地域住民に



あま市民病院の巡回バス



柏原 功 議員

問 家具の転倒防止金具の取り付け推進のために、一定条件を満たした方に金具取り付け費用の助成をすべきと思うが。

答 家具の転倒防止金具の助成については、購入費だけでなく、取り付けを含んだ支援を研究していきたい。

問 あま市での取り付け状況の把握はされているのか。されていないのであれば、アンケート調査をされてはどうか。
安全安心課長 家具の転倒防止金具の取り付け状況については、啓発活動

問 名古屋市瑞穂区の取り組みで、災害が起きたときに2000世帯以上の住人が、家族の安全を周囲に伝えるための安否札である。我が家は安全

安否札の推進を

をしているが、把握はしていない。アンケートについては、広く市民の方々にも防災のアンケートなどを視野に入れていきたいと考えている。

安全安心課長 安否を確認する一つの手段として、今後、自主防災会などに紹介し推進していきたい。

我が家は無事ですと書かれたA4サイズのピンク色の用紙を玄関先に掲げる。無事だった住民は、安否札のない家族だけを確認して回り、けが人などを発見する試みである。一人でも多くの住人を救う有効な手段だと考えるが、あま市でも取り組まれているかどうか。



家具転倒防止金具

家具転倒防止金具の推進を



あま市役所本庁舎

新年度の予算編成と今後の財政について



八島 進 議員

問 市の50年、100年先を考えながらの予算編成とは具体的に。
企画財政部長 平成32年度には合併特例措置での地方交付税が現水準と比較し、13億円減収、また、

旧町時代の公共施設などの老朽化更新に膨大な費用が必要となるため、長期的視点で施設の更新、統廃合、長寿命化などを行い、公共施設の最適な配置を実現し、将来にわたり健全な財政運営をと考えている。

問 市民病院への負担金増大の原因と対策および見通しは。また、新病院に医師確保の見込みは。
市民病院事務局長 例年の負担金約9億6千万円に加え、新病院開院に伴う臨時的な経費として約3億円を含んでいる。また、医師確保については全力で取り組んでいく。

問 今後の財政について行政手腕が求められるが、①10年後の市債予想額は。②市税が増える事業は。また、減額とならぬ対策は。
企画財政部長 ①平成37年度末で293億円となる見込み。要因は、新庁舎整備や新学校給食センター整備による。②人口増加等につながる施策の展開が必要と考える。

問 新庁舎建設は市債増加に直結し、納税者の多大な負担となる。建設の可否・延期を含め検討を。
企画財政部長 合併推進債を活用した場合、27億余りの負担を削減できるため、新市基本計画の期間延長などの手続きをし、建設を進めたい。



あま市内の水田

農業振興地域の活性化は



花木 敏行 議員

問 農地を守る計画は、策定されていると思うが、策定後の実施は。
建設産業部長 農地の利用状況の情報収集に努め、耕作放棄地の予防、優良な農地の確保を進める。

問 農地を守る計画は、策定されていると思うが、策定後の実施は。
建設産業部長 農地の利用状況の情報収集に努め、耕作放棄地の予防、優良な農地の確保を進める。

問 農業振興についてのは、実施可能な計画を作るのが本当だと思う。次のステップとして、地域に出向き、内容を説明し、協議する場を設け、地域の活性化・コミュニティの醸成を図っていくのが協働のまちづくりと考え。それも一つの地域でなく、大きなエリアを持った範囲で考えるべきだが。
産業振興課長 現在実施している人・農地プランアンケートなどを、まず

精査し、近い将来、地域の農業振興に向けた一定の方向性のアンケートをとる考えでいる。それをまとめ、実施機関などを作成するに当たって、地域の農業の方々と一緒に膝を交えながらつくっていきたいと考えている。

あま市の都市計画道路について



石田 良雄 議員

問 経済の活性化、安全で快適な道路網の整備が重要と考えるが、都市計画道路の整備状況は。
建設産業部長 県および市を合わせて30路線を都

市計画決定している。総延長は約58^キで、そのうち22^キが整備済みであり、整備率は37%になっている。
問 整備には、膨大な事業費が必要だが、整備方針は。
建設産業部長 地域の実情や土地利用の動向などを考慮しながら整備を進める必要があると考えている。しかし、限られた

財源の中では、大幅な整備進捗は難しいが、区画整理事業など、地域と連携してまちづくりとバランスが取れた道路整備を進めたい。
問 今後の整備計画は。
都市計画課長 県道名古屋津島線バイパスや都市計画道路西今宿東条線は県と協力しながら引き続き整備を進めていく。また、土地区画整理事業などは排水対策などを考慮しながら計画的に進めて

いく。また、交差点改良など緊急性が高く、事業効果が得られるものについても整備を進めていくことが必要だと考えている。



西今宿東条線

追跡

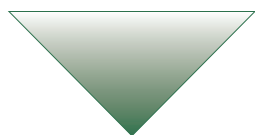
一般質問

その後どうなった？

1年前に行われた一般質問の結果を報告します。

質問

歴史、文化などの観光資源を生かした観光振興は。



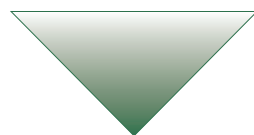
こうなった

あま市観光ガイドマップを作成し、イベントなどで配布した。

平成27年2月7日実施の名鉄ハイキングを招致した。

質問

- ①消防団の装備の改善を。
- ②団員の処遇改善を。



こうなった

①平成24年度から装備の改善に努めている。平成26年度は、防火服、消防用ホース、投光器などを各分団に配備した。

②退職報償金の一律5万円上乗せを実施した。



あま市観光ガイドマップ



防火服